

# 令和7年度学校評価表

## 1 学校の教育目標

- ① 豊かな人間性と創造性の伸長を図り、主体性・積極性・協調性・柔軟性を持ったグローバル社会で活躍する生徒を育成する。
- ② 心身共に健康で、社会を生き抜くための「基礎力」「思考力」「実践力」を持った生徒を育成する。
- ③ 一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させ、自らの意思と責任で進路を決定する生徒を育成する。

4  
学校関係者  
評価  
平均

## 2 本年度の具体的な取組(重点努力目標)

- ① 凡事徹底、授業態度、ビジネスマナーの育成
- ② 学習の保障
- ③ 資格取得の奨励
- ④ キャリア教育の推進と進路活動の早期取組
- ⑤ 読書活動と図書館活動の充実
- ⑥ 一人一端末の活用による授業力の向上
- ⑦ 国際理解教育の推進
- ⑧ 観点別評価における効果的な指導方法と評価の研究
- ⑨ 人権教育・いじめ防止対策の取組改善
- ⑩ 地域連携・貢献を意識した特別活動、課題研究の推進
- ⑪ 広報の充実
- ⑫ 部活動の活性化と望ましい指導体制の確立
- ⑬ PTA活動の充実と学校評議員との連携
- ⑭ 業務の効率化
- ⑮ 学科・コース、教育課程の見直し改善

A: 非常に良い  
B: 良い  
C: あまり良くない  
D: 良くない

## 3 自己評価(令和6年度の課題、令和7年度の成果と課題)

評価項目	評価基準(良好)→A B C D→(努力を有する) ※肯定的回答(A・B)	自己評価(%)				評価平均	令和6年度の課題	令和7年度の成果と課題	
		A	B	C	D				
教育目標	①職員は教育目標を意識して教育実践に取り組んでいる。	72	28	0	0	A	教育目標を生徒や保護者にHP等を活用して周知する。	【成果】 ・教育目標、重点努力目標を意識した教育実践により、生徒の実績として成果が見られた。(商業科、工業科) 【課題】教育目標の全項目が上がっていることから、引き続き改善を図る。	A
	②教育目標は生徒や保護者にわかりやすく示している。	61	33	6	0				
学校運営	③規則や生徒及び学校の実態に沿って運営されている。	61	39	0	0	A	学校評価の評価結果に基づき、各部・科で改善策に取り組む。	【成果】各学年・分掌がそれぞれ学校目標達成に向けて実践している。 ・特別支援教育支援員、カウンセラー等の配置で多様な学びの場と支援を実施している。 【課題】 ・教育計画の全項目が昨年度に比べて上がっているが、より生徒が主体性を尊重した運営を実施する。	A
	④各分掌が協力・連携した学校運営がなされている。	57	39	2	2				
	⑤生徒の個性を大切にインクルーシブ教育が推進されている。	50	48	2	0				
授業学習	⑥生徒の実態を踏まえた、分かる授業・参加する授業が実践されている。	52	48	0	0	A	学校内の情報共有でも効率的な支援員との連携、促進を進めていく。学習端末を用意できない生徒がいるため習慣化できるように指導が必要。	【成果】 ・教育支援員を配置し、生徒の学力向上支援、組織運営ができていく。 ・三大行事(体育祭)の成功。 ・各種検定・大会上位入賞に生徒の活躍があった。 ・ICTを利用していつでも、どこでも学習できる環境を整えている。 【課題】 ・ICTを活用した授業は来年度も引き続き全教職員で取り組む。	A
	⑦タブレット端末等のICT、視聴覚機器の活用等、情報活用能力を育成している。	56	37	7	0				
	⑧各種検定・資格取得への意欲を引き出し、個別指導および補習授業等に取り組んでいる。	81	15	2	2				
特別活動	⑨図書資料の充実に努め、生徒及び職員の図書館利用者を増やす取組がなされている。	48	41	11	0				
	⑩委員会活動をととして、生徒が主体的に学校行事等に取り組むようにしている。	50	43	6	2	A	生徒主体の計画がまだ未熟な部分があるためサポートが必要。	【成果】生徒会を中心に委員会活動が行われている。 ・複数顧問制による部活動の活性化、年間指導計画に沿ったHR活動。 【課題】生徒会による主体的な活動を支援する。	A
生徒指導	⑪部活を奨励し、学校生活を充実させる教育がなされている。	52	43	6	0				
	⑫定期的な身なり指導・動怠指導等を通し、生活の乱れを未然に防ぐ指導がなされている。	74	20	6	0	A	生活習慣の乱れ、自転車事故への対応。自転車運転マナー指導の充実に取り組む。	【成果】 ・朝の交通安全指導の取り組みにPTAの協力もあった。 ・身なり指導や動怠指導の充実により、落ち着いた風紀が見られる。 【課題】 ・身なりや、スマホ等の指導・声かけを全職員で取り組む。 ・交通安全教育やいじめやいじりのない人権教育の推進。	A
	⑬交通安全指導を通し、交通事故の防止に努めている。	67	26	6	2				
進路指導	⑭職員や部活動指導者の日頃の言動について、生徒の人権に配慮した対応をしている。	63	35	2	0				
	⑮自己実現に向けた計画的、継続的、系統的な進路指導と個別・三者面談が実施されている。	59	37	4	0	A	就職支援員の配置によるキャリア教育の充実。	【成果】 ・効果的な指導で早期の就職活動の取組があった。 ・1年生全員に統一したキャリア教育を実施した。 【課題】 ・引き続き早期の進学・就職活動の取組を2年次から推進する。	A
健康教育・教育相談	⑯進路ガイダンスの実施や生徒や保護者への進路に関する最新情報の提供に努めている。	72	28	0	0				
	⑰性・エイズ・薬物乱用防止への指導に努めている。	85	15	0	0	A	僅差ではあるが、全項目の評価が下がっていたので、SCやSSWなど、外部(アウトリーチ)の取組を継続していく。	【成果】 ・毎朝の健康チェック体調不良、感染症への対応ができた。アンケートや集会を通して健康や安全指導を徹底できている。 ・特別支援コーディネーターによる生徒の支援体制を構築した。 【課題】 ・生徒指導部と連携したいじめやいじりを出さない人権教育の推進。薬物乱用防止の特別授業の効果的な在り方。	A
	⑱生徒が悩みなどを気軽に相談できる体制ができていく。	80	20	0	0				
環境整備・危機管理	⑲全職員でいじめの未然防止・早期発見に努め、いじめが発覚した場合にはいじめ防止対策委員会を中心に適切に対応している。	81	17	2	0				
	⑳学校緑化、生徒の主体的な清掃・美化活動に取り組んでいる。	69	30	2	0	A	・清掃用具やゴミ袋などの不足。 ・花木の病気への対応を県や市と連携して解決に方向づけたい。	【成果】 ・生徒の主体性を活かした計画的に環境美化活動を実施できている。 【課題】 ・全項目が上がっていることから、継続した美化活動に取り組む。	A
学校・家庭・地域との連携	㉑防災訓練、施設設備の点検、服務規律研修が実施され、安心安全な学校づくりに努めている。	72	28	0	0				
	㉒学校HP、Instagram、懸垂幕等により学校教育活動が広く発信されている。	52	44	4	0	A	・スクリレの全保護者登録と積極的な活用。ネットワーク環境がない方々への広報活動。	【成果】 ・担任や分掌の職員もスクリレを導入して連絡事項やアンケートを効率的にできるようにになった。 ・HPやインスタ、企業との連携、地域行事への参加ができた。 ・PTAと連携したイベント(年末イルミネーションなど)、地域の行事(豊年祭やボランティア活動)を生徒が主体的に関わって実施した。 【課題】 ・メールサービスの運用により、保護者に必要な情報の発信を継続して取り組んでいく。	A
	㉓家庭との連携、地域行事への参加等、地域と共にある学校づくりがなされている。	65	35	0	0				
	㉔保護者との連絡・連携が図られ、学校・家庭・地域連携の充実がなされている。	59	39	2	0				
働き方改革3軸・6視点	㉕科・コース制の特色を生かす取り組みがなされている。	70	28	2	0				
	㉖地域の教育環境・人材を活用した授業や講話などの充実がなされている。	67	31	2	0				
	㉗同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができていく。	59	39	2	0	A	・「管理職との良好な人間関係」「ゆとり時間の確保」が他の視点より低いことから、コミュニケーション構築が課題である。 ・情報端末が壊れたり、数が不足する場合があります。 ・「ゆとり時間の確保」専門性を発揮するための研修の充実のより一層の取り組み。 ・健康診断・人間ドックの早めの受診。	A	
	㉘個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができていく。	31	48	19	2	B			
	㉙一人一人の生徒との信頼関係を深めることができていく。	56	43	2	0	A			
働き方改革3軸・6視点	㉚より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	41	54	4	2	B			
	㉛心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができていく。	46	48	6	0	B	・「管理職との良好な人間関係」「ゆとり時間の確保」が他の視点より低いことから、コミュニケーション構築が課題である。 ・情報端末が壊れたり、数が不足する場合があります。 ・「ゆとり時間の確保」専門性を発揮するための研修の充実のより一層の取り組み。 ・健康診断・人間ドックの早めの受診。	A	